

## 「府内の障がい者(児)入所施設における歯科保健の取り組みについての調査」調査結果

### 1. 調査目的

大阪府歯科口腔保健計画(計画期間:平成26年度から29年度)の評価を行うにあたり、定期的に歯科健診又は歯科医療を受けることが困難な者に対する歯科保健の実態を把握するため、障がい者(児)入所施設における歯科保健の取り組みについて実態調査を行った。

### 2. 調査対象

府内に所在する障がい児入所施設 11 施設及び障がい者入所施設 94 施設(計 105 施設)

### 3. 調査項目

- (ア)施設の入所定員
- (イ)歯科医師による歯科健診の実施状況
- (ウ)口腔ケアの実施状況
- (エ)歯科保健に関する取り組みの実施状況
- (オ)入所者の満足度について
- (カ)歯科保健向上のための意識

### 4. 実施方法

#### (1)調査方法

平成28年度版大阪府福祉の手引きに記載されている障がい者(児)入所施設に対し、府健康づくり課から調査票を郵送にて送付し、FAXにて回収。

#### (2)調査時期

平成28年9月5日～平成28年9月30日

### 5. 調査結果

#### (1)回答状況

105 施設中 83 施設から回収(回収率:79.0%)

## (2) 調査結果

### (ア) 施設の入所定員

○入所定員は、「50人以上100人未満」の施設が最も多く44.6%であり、「50人未満」の施設42.2%と合わせると、「100人未満」の施設が施設全体のおよそ9割を占める。(表1)

表1 施設の入所定員

入所定員	回答数/総数	
	施設数	割合
50人未満	35/83	42.2%
50人以上100人未満	37/83	44.6%
100人以上	11/83	13.3%

○入所者に「知的障がい」の方がいる施設は全体の86.2%、「身体障がい」の方がいる施設は全体の72.4%、「精神障がい(発達障がいを含む)」の方がいる施設は全体の40.2%、「難病患者」の方がいる施設は全体の12.6%、「障がい児」の方がいる施設は全体の8.0%である。(表2)

表2 入所者の構成

入所者数	回答数/総数	
	施設数	割合
知的障がい	75/87	86.2%
身体障がい	63/87	72.4%
精神障がい (発達障がい含む)	35/87	40.2%
難病患者	11/87	12.6%
障がい児	7/87	8.0%
その他	4/87	4.6%

(イ) 歯科医師による歯科健診の実施状況

○歯科医師による歯科健診の実施は、9割以上の施設が実施している。定期的を実施している施設は、63.9%である。(表3)

表3 歯科医師による歯科健診の実施状況

健診を受ける機会	回答数/総数	
	施設数	割合
あり	75/83	90.4%
定期的	53/83	63.9%
年1回	20/83	24.1%
年2回	6/83	7.2%
年3回以上	27/83	32.5%
不定期	3/83	3.6%
その他	19/83	22.9%
なし	8/83	9.6%

○歯科健診を受けることが大切だと思うかについて、「そう思う」と回答した施設が100.0%である。(表4)

表4 歯科健診受診の大切さ

歯科健診受診の大切さ	回答数/総数	
	施設数	割合
そう思う	83/83	100.0%
そう思わない	0/83	0.0%

(ウ) 口腔ケアの実施状況

○職員による口腔ケアの対象者について、「配慮が必要な場合、職員が実施」している施設61.4%、「すべての入所者に対し、職員が実施」している施設32.5%を合わせると、9割を超えている。(表5)

表5 職員による口腔ケアの対象者

口腔ケアの対象者	回答数/総数	
	施設数	割合
すべての入所者に対し、職員が実施	27/83	32.5%
配慮が必要な場合、職員が実施	51/83	61.4%
関与せず、入所者本人が実施	3/83	3.6%
その他	2/83	2.4%

○職員による口腔ケアを受ける機会は、1日3回以上行っている施設が71.3%で、1日2回以上行っている施設の20.0%を合わせると、9割以上の施設が1日2回以上の口腔ケアを行っている。(表6)

表6 職員による口腔ケアの実施状況

口腔ケアの実施状況	回答数/総数	
	施設数	割合
1日3回以上	57/80	71.3%
1日2回	16/80	20.0%
1日1回	0/80	0.0%
その他	7/80	8.8%

○職員による口腔ケアの内容について、歯ブラシを使って磨くことはほとんどの施設で行われており、スポンジブラシを用いた粘膜・舌等の清掃は約半数の施設で行われている。歯間ブラシや糸ようじなど補助清掃用具を使った清掃は約4割の施設で行われている。(表7)

表7 口腔ケアの内容

口腔ケアの内容	回答数/総数	
	施設数	割合
歯ブラシを使って磨く	79/83	95.2%
歯間ブラシや糸ようじなど補助清掃用具を使った清掃	32/83	38.6%
スポンジブラシを用いた粘膜・舌等の清掃	41/83	49.4%
水流式歯ブラシを用いた口腔ケア	5/83	6.0%
口腔乾燥や舌の汚れのある方に保湿剤を用いた口腔ケア	7/83	8.4%
舌ブラシを用いた舌の清掃	19/83	22.9%
その他	6/83	7.2%

(エ) 歯科保健に関する取り組みの実施状況

○歯や口の健康について、歯科医師・歯科衛生士等の専門家へ相談することはほとんどの施設で行われており、施設内のカンファレンス等において、入所者の歯や口の健康について取り上げている施設は半数近くである。(表 8)

表 8 歯科保健に関する取り組みの実施状況

実施している取り組み	回答数/総数	
	施設数	割合
入所者の歯や口の健康について、歯科医師、歯科衛生士等の専門家に相談している。	78/83	94.0%
施設の職員が歯や口の健康に関する研修を受けるなどの機会を設けている。	29/83	34.9%
施設内のカンファレンス等において、入所者の歯や口の健康について取り上げている。	36/83	43.4%
入所者一人ひとりの口腔ケアプランを策定している。	4/83	4.8%
唾液腺マッサージや嚥下訓練など口腔機能の維持向上に関する取り組みを行っている。	16/83	19.3%
その他	14/83	16.9%

(オ) 入所者の満足度

○歯科保健に関する取り組みについて、入所者の満足度を「ある程度満たしている」と回答した施設が 78.0%と最も多く、「十分満たしている」7.3%と合わせると、約 9 割の施設が「満たしている」と感じている。(表 9)

表 9 歯科保健に関する取り組みに係る入所者の満足度

入所者の満足度	回答数/総数	
	施設数	割合
十分満たしている	6/82	7.3%
ある程度満たしている	64/82	78.0%
やや不足している	10/82	12.2%
まったく不足している	1/82	1.2%
その他	1/82	1.2%

(カ) 歯科保健向上のための意識

○歯科保健向上のために必要と考える取り組みについて、歯科医師・歯科衛生士等の専門家からの指導・助言と回答した施設が 83.1%、施設の職員の口腔ケアに関する知識・技能向上のための講習会等の実施と回答した施設が 68.7%である。(表 10)

表 10 歯科保健向上のために必要と考える取り組み

必要と考える取り組み	回答数/総数	
	施設数	割合
歯科医師・歯科衛生士等の専門家からの指導・助言	69/83	83.1%
施設の職員の口腔ケアに関する知識・技能向上のための講習会等の実施	57/83	68.7%
入所者の口腔ケアのプラン作成やカンファレンスにおける情報共有	38/83	45.8%
口腔ケア用品の充実	33/83	39.8%
その他	7/83	8.4%

※割合については、四捨五入の関係で合計が 100%となっていない場合があります。